

も・み・じ

104



発行：放送大学福島学習センター
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<https://www.ouj.ac.jp>

—もみじの由来—

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

お知らせ

◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターウェブサイトに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

【システムWAKABA】

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

【福島学習センターウェブサイト】

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

◆年末年始及び月曜日・祝日以外の学習センター閉所日について

12月28日(木)～1月4日(木)・1月9日(火)・1月25日(木)・2月10日(土)・3月19日(火)

あわせて『利用の手引き』の日程表、もしくは福島学習センターウェブサイトのセンタースケジュールもご確認ください。

※2023年度『利用の手引き』第2学期日程表にある2月22日(木)の閉所は23日(金)の誤りです。申し訳ございませんが、ご確認をよろしくお願いいたします。

◆次学期に向けての手続きについて

- 次学期も学籍が続く方は、2月13日(火)～2月28日(水)【必着】の期間内に科目登録申請票(システムWAKABA申請可 2月13日(火)～2月29日(木))を郵送してください。
- 今学期学籍が切れる方で次学期も学習を継続される方、再試験を受ける方は、2月29日(木)【第1回】、3月12日(火)【第2回】【必着】まで継続入学出願票(システムWAKABA継続入学申請から出願可)または一般の学生募集要項の出願票を郵送してください。

◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配布方法について

配布方法については、福島学習センターウェブサイト内の「機関誌紹介」及び「各種お手続き」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望者の方はウェブサイトを参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/procedure/>



「わからない」ことからの学び

五十嵐 敦

世の中、「わからない」ことが多いです。でも、わかったようなことをいう人もたくさんいますね。偏った情報や知識、情報過多の中で都合のよい、わかりやすいものに私たちは飛びついてしまいます。「あの店はおいしいよ!」と言われ、「本当かな?メニューは全部食べてみた?」などといっていると嫌われてしまいそうですね。

わかったつもりになると学ばなくなります。というか、わかるものやわかりやすいものだけを受け入れて、それまでの理解(と呼ぶかどうか)をより強固にし、わからないものを排除し、わかり合えないと戦争にまで発展します。むしろ、わかったつもりになって敵と決めつけ、自分たちとは相いれないから戦う。「わかる」というのは怖いものです。

以前ある件で、それまでの経過や当事者・関係者と直接のやり取りから「わからない」と発言しました。ところがソーシャルワーカーや臨床家などが、「それは家族、親子関係の…に起因した…」と決めつけたのです。怖かったですね。この人たちは、自分の専門(と言えるのか?)、あるいは聞きかじったり、たまたま読んだ本の情報から「わかった」つもりになって、他の要因を考慮したり異なる次元から検討することを放棄しています。学びとは、そこにとどまることではなく、わからないことを前提に柔軟な目で検証、応用していく力ではないでしょうか。

学習センターで皆さんと学んでいくことは、「わからない」の連続です。それでは無責任ですから、「わかる」範囲と視点からコメントし、「わからない」ことを一緒に考えたり教えていただいたりしています。一市民として素朴な疑問を発するようになっています(ゼミに参加されている方々、ゴメンナサイ、そしてアリガトウございます)。

批判的思考とは、「相手の発言に耳を傾け、証拠や論理、感情を的確に解釈すること、自分の考えに誤りや偏りが無いかを振り返ること」とされています(これも本当かどうか調べてみましょう…)。批判的思考は、市民としての生活に必要なコミュニケーション能力を支え、良き市民になるために大切なことのようにです。しかし、私たちは学んでから生きているわけではありませんね。生活しながら学んでいます。

遠い昔に聞いたソクラテスの「無知の知」ということでしょうか。デューイの「省察的思考…深遠や知識を、それを支えている根拠とそこから導き出される結論に照らして、能動的、持続的、慎重に考慮する思考」など、何を言っているのかよくわかりませんが、批判的思考の態度は科学リテラシーを高め、病気や食生活の知識を高めます。結果として病気への適応を高めていた(楠見ら、2009)という報告もあるので、筆者も自分の勉強不足を棚に上げ、「わからない」を駆使して学んでいきたいと思います。と、わかったようなことを書いてしまいましたか?

本年もよろしくお願いいたします。

令和5年度第1学期 卒業証書・学位記授与式

令和5年9月24日(日)福島学習センター、10月1日(日)いわきサテライトスペースにて卒業証書・学位記授与式が行われ、卒業を迎えられた26名のうち8名の出席がありました。

学歌斉唱のあと、中田所長から一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡され、お祝いの式辞がありました。

続いて卒業生を代表して、福島学習センターでは安齋ケイ子さん、いわきサテライトスペースでは大野一夫さんが「御礼のことば」を述べました。

ご卒業おめでとうございます



※延べ卒業生数 大学院59名 教養学部1,003名
(いわきサテライトスペース卒業生数含む)

令和5年度第2学期 入学者の集い

卒業証書・学位記授与式に引き続き、令和5年度第2学期入学者の集いとオリエンテーションが行われました。中田所長の挨拶の後、オリエンテーションでは放送授業、面接授業、オンライン授業、施設の利用方法、客員教員ゼミや所長カフェ等の説明が行われ、新入生の皆さんは熱心に聞いておられました(写真はいわきサテライトスペース)。



御礼のことば

福島学習センター所属 安齋ケイ子

本日は、このようなご挨拶の機会を与えていただき、誠にありがとうございます。僭越ではございますが、卒業生を代表して、お礼のことばを述べさせていただきます。

9月に入っても30度を超える暑さが続きましたが、本日は心地よい秋風が吹き抜ける秋晴れの良き日となりました。このような時節に、私ども卒業生・修了生のために「学位記授与式」を開催いただき誠にありがとうございます。

ご多用中、式にご臨席いただきました学習センター所長様・福島同窓会会長様に改めてお礼申し上げます。

私が、放送大学に入学したきっかけは、須賀川市のムシテックワールドでボランティアをしていた時、私は大学にいきたくはあったけど、いけませんでした。リタイヤしたら、福大の掃除のおばさんになろうと思ったんですが、あきがなくて行けなかったんですよと話をしましたら、一緒にいた女性の方から「放送大学」は「高校の卒業証明書があれば、年齢に関係なく、入学することができますよ」と、教えていただいたことからです。

「卒業証明書が取れたら連絡くださいね、学習センターに案内してあげますから」「書類を提出しても、入学許可が下りない時

もあるのよとも言われましたが」無事入学許可が下りました。

専攻は、「生活と福祉」でした。書類を出すのが遅かったのですが、2019年、一学期は面接授業だけでしたが、先輩方に話かけていただき、面接授業に出席するのが楽しくなりました。先輩方は年齢も、仕事も様々でしたが、好奇心と目標に向かって学ぶ姿勢に感銘を受けました。2020年には「コロナ」のため、面接授業が取りやめになり、放送授業だけになりましたが、私にとって「コロナ」は勉強に集中できるいい機会でした。「生活と福祉」の生活分野は高校で勉強した復習をしているような感じでもあり、高校卒業から数十年も経っていたこともあり、新しく習得できたことが、沢山ありました。こうして学んだことを、今後とも福祉の仕事に活用していきたいと思っております。

最後に、学習センター所長様、面接授業の講師の先生方、丁寧にわかりやすい授業をありがとうございました。事務手続等についてもいろいろとサポートいただいた、事務室の職員の皆様方にも深く感謝申し上げます。

放送大学の益々のご発展をお祈りして、お礼の言葉といたします。

令和5年9月24日

いわきサテライトスペース所属 大野 一夫

本日、情報コースの卒業を迎え、授業で教えて下さった先生の皆さま、また事務局の皆さまに御礼を申し上げます。

今回学んだ情報コースに関するのですが、連日、報道されているチャットGPTやAI等の情報は、身の回りにあふれており、知らないでは済まされない状況のようです。今、私たちが利用している携帯型の自動翻訳機を、私は現役時代に興味の赴くままに買い求めましたが、その厚さから「枕の役割」となってしまった外国語の書籍と比べて、翻訳の正確さには首をかしげる場面はあっても、間違いなく消化可能な「楽しみ」になってくれています。

しかし、私の現役時代に学んだ中国語の

先生であり、現在も翻訳家として活躍されている知人の翻訳された書籍を読むと、やはりその道のプロとはレベルが違うと思わされます。翻訳を楽しみのレベルに変えてくれた自動翻訳機に感謝しながらも…、そんなことを考えております。

既に現役を退いた我が身としては、「分からないことから離れていたい、うまく利用できれば、年齢や身体能力を超えて(?)人生を楽しめるかも…」と思っています。そのように思えるためにも、今まで学んだ知識をベースに歩んでいきたいと思っております。

この度は本当にありがとうございました。

令和5年10月1日

公開講演会のお知らせ

日時／2024(令和6年)2/3^土
■開場12:30 ■開演13:00~14:30

会場／いわき市社会福祉センター

演題／里山の活性化について
—里山の幻想と現実—

講師／放送大学客員教授
東日本国際大学経済経営学部教授
山田 紀浩 氏

日時／2024(令和6年)2/4^日
■開場12:30 ■開演13:00~14:30

会場／放送大学福島学習センター講義室

演題／文化と社会を読む

講師／放送大学客員教授
福島大学人間発達文化学類教授
高田 英和 氏

日時／2024(令和6年)2/4^日
■開場14:45 ■開演15:00~16:30

会場／放送大学福島学習センター講義室

演題／猪苗代湖畔に人類の足跡を求めて
—発掘ガールとともに23年—

講師／放送大学客員教授
郡山女子大学短期大学部教授
會田 容弘 氏

定員・お申込み・お問い合わせ

■各先着35名(要予約)

※各回とも定員になり次第終了します。お早めにお申込みください。


■事前電話予約

開催地別に電話でお申込みください。


- ・いわき いわきサテライトスペース
- ・郡山 福島学習センター

主催：放送大学福島学習センター 後援：福島県教育委員会・郡山市教育委員会・いわき市教育委員会

いわき
いわき市社会福祉センター
令和6年2月3日(土)
13:00~14:30(12:30開場)




里山の活性化について
—里山の幻想と現実—




里山で約50年前に起こった過疎の危機時代、山と現在の危機と言われる限界集落との違いを明らかにし、里山で何が起きているのか、またその機能と役割について検討します。そしていわきの里山について、その言い伝えや食の魅力を考え、再発見することで、地域の誇りも再認識し、いわき地域内での交流人口拡大の仕掛けについて考えます。またこれまで6年間実施した里山での活動を通して見えてきた里山への幻想と現実についても考察します。

講師 山田 紀浩 先生
放送大学客員教授
東日本国際大学経済経営学部教授

郡山
放送大学福島学習センター講義室
令和6年2月4日(日)
13:00~14:30(12:30開場)



文化と社会を読む




20世紀はアメリカの時代であると言われています。その象徴の一つに、「ディズニー(The Walt Disney Company)」の存在があります。「ディズニー」は、私たちの良く知っている作品(アニメーション映画)を数多く出しています。代表的なものとして、例えば、「シンデレラ」、「ふしぎの国のアリス」、「くまのプーさん」が挙げられます。この講演会では、「ディズニー」作品が、如何にその時代の思潮と密接に関係しているのかをお話しします。


講師 高田 英和 先生
放送大学客員教授
福島大学人間発達文化学類教授

要申込 12:30~13:00
キャンパスも 同時開催
放送大学内容説明・施設見学など

郡山
放送大学福島学習センター講義室
令和6年2月4日(日)
15:00~16:30(14:45開場)



猪苗代湖畔に人類の足跡を求めて
—発掘ガールとともに23年—



2001年から猪苗代湖畔の笹山原遺跡発掘調査を開始して23年になります。コロナ禍で2020年には発掘ができませんでしたが、発掘ガールとともに調査を継続してきました。その結果、平安時代(1000年前)、縄文時代前期(5700年前)、後期旧石器時代前半期(32000年前)の人類の活動痕跡がわかってきました。今回は32000年前に、たき火を囲んでいた私の祖先ホモ・サピエンスの石器作りと使用の動作連鎖をご紹介します。彼らは最初に猪苗代湖畔に立った人類だったのです。

講師 會田 容弘 先生
放送大学客員教授
郡山女子大学短期大学部教授

お申込み・お問い合わせ先

放送大学福島学習センター
〒963-8025
郡山市桑野1丁目22番21号
TEL.024-921-7471
<https://www.sc.uoj.ac.jp/center/fukushima/>

放送大学いわき
サテライトスペース
〒970-8026
いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター4階)
TEL.0246-22-7318



学生サークル紹介

会津学知会



会津学知会 佐藤 和光

空には鱗雲、ようやく会津にも秋の気配が聞こえ、会津学知会恒例(令和5年10月8日)の“歴史散策”には最高の天気日和です。参加者は一般参加者4名、福島同窓会6名、会津学知会6名の16名です。コロナ対策のため、参加者の体調確認と体温測定を行いました。全員異常なし。さあ！小田山公園の山頂を目指して元気に出発です。

最初は、会津の中世を400年にわたり支配していた蘆名氏三代の廟所である花見ヶ森御廟です。奥州の大名として栄華を極めた蘆名氏ですが、伊達政宗に1589年に滅ぼされます。会津の歴史は蘆名氏から始まります。その後、蒲生氏郷、上杉景勝そして江戸時代の保科正之(会津松平)と深い歴史が濃くつまっています。今、蘆名氏の墓は、住宅街の奥にひっそりと残るのみです。

陽ざしも快くなってきました。それでは、皆で“小田山公園”を登ります。小田山の中腹には、蘆名氏の墓所である寿山廟があります。この北麓一帯は、蘆名氏の墓域です。会津盆地の景色を眺め中野さん、田崎さん(ボランティアガイド資格者)の説明を聞きながら登りますと、戊辰戦争の際には新政府軍の砲台が置かれた場所があります。そこから望む鶴ヶ城に、強力なアームストロング砲で砲撃、撃ち込まれた弾は1200発。生き地獄のような戦いです。ここから眺める鶴ヶ城と会津盆地の絶景からは想像もできません。さて、いよいよ山頂です。

ここには、田中玄宰(たなかはるなか)の墓があります。玄宰は、江戸時代後期の会津藩家老です。殖産興業の奨励を図り農民や町人に養蚕・薬用人参・紅花・藍・棉等の栽培・漆器・酒造り・絵ろうそく等の栽培や製造を推奨します。また、藩校日新館の創設に尽力し教育改革を行うなど、会津藩の天下の基礎を築きました。白河藩主の松平定信は、「会津の田中三郎兵衛(玄宰)に笑われることなかれ」と訓戒するほど高く評価された人物です。参加者からは、「市長も玄宰のような仕事をしてもらいたい」との声、皆で大笑いをしました。いよいよ下山です。お腹はペコペコです。集合写真を撮って、「東山庵」へと向かいます。美味しいそばを食べながらの懇談会、皆さんの「会津の歴史」への博学には感心しました。一般参加者からは、「こんな歴史散策をしてほしい」などの提案も出され大感激です。

会津学知会の活動内容はホームページにて公開しております。ぜひご入会下さい。

会津学知会ホームページ：<http://aizugakutikai.yaekumo.com>

